

おぎくぼ 名所地図

杉並区公式情報サイト「すぎなみ学倶楽部」で紹介中の荻窪三庭園（荻外荘公園、大田黒公園、角川庭園）をはじめ、いにしへの歴史と新しい文化が共存する荻窪の見どころをピックアップ



- 荻窪あれこれ
地名の由来からアニメやラーメンまで荻窪の魅力をご紹介します
- 荻窪三庭園めぐり
杉並区立荻外荘公園 杉並区立大田黒公園 杉並区立角川庭園
- そろそろ乗ってみたい！
荻窪発グリーンスローモビリティ
- 荻窪散歩にぴったり！
史跡・施設・グリスロ運行ルート付きマップ



DISCOVERY OGIKUBO MAP & GUIDE
presented by すぎなみ学倶楽部

注目が集まる荻窪と荻窪三庭園

かつて近衛文麿などの政治家や、井伏鱒二、太宰治、大田黒元雄、角川源義などの作家・芸術家が暮らし、文化的な雰囲気を残す杉並区荻窪。区は、「住み続けたいまち、訪れたいまち」を目指し、区内最大の乗降客数を持つ荻窪駅の周辺のまちづくりに取り組んでいる。2024年12月に区立荻外荘公園が開園し、駅南側にある荻窪三庭園(荻外荘公園・大田黒公園・角川庭園)巡りに最適なグリーンスローモビリティも導入され、地域の回遊性も向上。杉並の新しい観光コースとして注目が集まっている。



2024年12月8日、荻外荘公園の開園式が執り行われた。式の最後には岸本区長と来賓によるテープカットが行われ、開園を待ち望んだ200人ほどの区民から大きな拍手が沸き起こった



隈研吾さん。杉並区公式アニメキャラクターなみすけと一緒に



荻外荘「展示棟」2階のイメージ
(Tekigaiso Information Center Ogikubo
©Kengo Kuma & Associates)

※掲載している図はイメージであり、実際と異なる場合があります



◀全文は
すぎなみ学倶楽部で

建築家・隈研吾さんに聞く、荻窪と荻外荘

荻外荘「展示棟」(2025年夏完成予定)の基本設計・実施設計業務は、隈研吾建築都市設計事務所が担当した。「荻外荘公園が今後の荻窪文化のハブとなるように盛り上げる一助になれば」と、隈研吾さんは語る。

「荻窪は近衛家や与謝野家、角川家など著名な人々との縁があり、歴史的・文化的にたいへん意味のある土地です。荻外荘は、建築家の伊東忠太と、最初に住んだ大正天皇侍医頭・入澤達吉という進取の気性に富んだ二人が建てたのですが、伊東忠太という人は、日本の建築史に興味がありながら、絶対に伝統におもねらない人でした。入澤達吉にもそういう先進的なところがあったようです。そして近衛文麿の精神性というか、そういったものを含めた三人の姿が、荻外荘にいと重なって見えるんですね。人間と住宅というのは重なるものだと思っているのですが、荻外荘では特にそう思います。そこで行われたことと家のデザインが重なっていて、非常に興味深いんです。すてきな古い家と、ただ楽しんで見るだけでもいいのですが、ぜひその奥にある三人の人生に想いをはせてみてほしいと思いますね。」

荻

窪

あ

れ

こ

れ

江戸時代の伝承から現代のアニメ・ラーメンまで、
さまざまな角度から荻窪の魅力をご紹介します。
すぎなみ学倶楽部の荻窪紹介ページ▶



服部半蔵が治めたという伝承

「荻窪」の地名の由来は、飛鳥時代に、旅の僧が現在の光明院辺りの荻を刈って荻堂を作り、観音様を祭ったという伝説によるといわれている。江戸時代に入ると、新たに開拓された田んぼを中心に現在の荻窪地域にも村が増えてきた。それらの多くは幕府領とされたが、旗本領や寺社領もあり、下荻窪村（現荻窪1～5丁目、南荻窪1・4丁目、上荻1～2丁目）辺りは、徳川氏を助けた功績で、旗本に昇進した服部半蔵に与えられたという伝承が残っている。

現在も荻窪の光明院に植えられている荻



杉並最初の駅

杉並区域で最初に開業した駅は甲武鉄道の荻窪駅だ。1891年12月のことである。甲武鉄道はもともと、貨物や乗客の確保という採算の点から、人馬の交通の多い青梅街道と交差する地点である荻窪付近に駅がほしかった。高井戸などの甲州街道沿いの乗客も見込めた。候補地として井荻村下荻窪（現荻窪駅の場所）が上がったが、地主は先祖代々の土地を手放すことに難色を示す。そこで候補地を杉並村阿佐ヶ谷に変更したが、そこから反対にあい、下荻窪に戻した。

昭和初期の荻窪駅
（出典：『躍進の杉並』）



アニメと音楽が根付くまち

杉並会館内に、日本のアニメ全般を紹介する東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアムがある。また、荻窪にはバンダイナムコフィルムワークス、コミックス・ウェブ・フィルム、スタジオ地図など、アニメ制作会社が多く集まる。

北口から徒歩約7分の杉並公会堂は、日本フィルハーモニー交響楽団の本拠地で、国内有数の音響施設を備える。例年11月開催の荻窪音楽祭では、杉並公会堂を中心に地域の教会やカフェなどでも演奏会が行われる。



東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム

地元民も太鼓判！ 荻窪グルメ

荻窪といえばやっぱりラーメン！ 有名な老舗や行列のできる人気店など、店主のこだわりが感じられる名店ぞろいだ。ほかにも、カレー店や和洋菓子店など、地元で長く愛されている店が多数ある。



春木屋の中華そば。東京を象徴するラーメンの名店
（写真提供：中華そば春木屋）



高橋の酒まんじゅう。こうじの香る皮にさっぱりしたあんが合う

荻窪三庭園

詳しくはすぎなみ学倶楽部の荻窪三庭園コーナーをご覧ください。



1 杉並区立 荻外荘公園

国指定史跡の荻外荘のある公園で荻窪の歴史・文化を体感



左：荻外荘は部屋ごとに異なる、印象的な内装。
広縁は窓枠の独特な意匠が目を引く
下：南側には芝生広場が広がる



荻外荘は、昭和前期に内閣総理大臣を3度務めた近衛文麿の旧宅で、設計は築地本願寺などを手掛けた日本を代表する建築家・伊東忠太。2016年には国の史跡に指定されている。地元住民の声を受けて区が復原・整備し、2024年12月に公園として開園した。邸内ではARで歴史的な場面の再現を見られるほか、モダンな内装や調度品を楽しむことができる。建物の南側には芝生広場が広がり、大木が夏には涼しい木陰をつくる。秋には紅葉も見どころだ。

2025年7月に完成予定の隈研吾建築都市設計事務所による展示棟のカフェで、荻外荘を眺めながら休憩するのもよいだろう。

住所 杉並区荻窪2-43-36

電話 03-6383-5711

開園 9:00-17:00(入園は16:30まで)

休業 水曜・年末年始(12/29-1/1)

観覧券 一般300円、小・中学生150円

左：「荻窪会談」が行われた客間。ARで会談の様子の再現を見ることができる
中・右：中国風の応接室。伊東忠太のデザインと言われる龍の紋様の敷瓦がある



荻窪三庭園巡りに
最適な電動車

グリーンスローモビリティ(グリスロ)

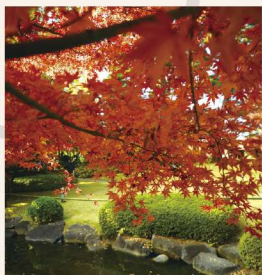


荻窪駅西口発で9時から17時までの間、1日24便運行されている(平日・土日祝日共通)。時速は20km未満、1周約2.5kmを約20分で一周する。運賃は100円(未就学児無料)。



2 杉並区立 大田黒公園

区立公園唯一の回遊式日本庭園。秋には紅葉のライトアップも



池と秋のカエデ



記念館内ではコンサートも開かれる



70m続くイチヨウ並木

音楽評論家の大田黒元雄が47年余りの時間を過ごした屋敷跡地に作られた、区立公園唯一の回遊式庭園。広さは約8,900㎡に及ぶ。できる限り当時の原形を保ちた園内に池が再現され、イチヨウ並木をはじめとした巨木が生き生きと茂っている。

数寄屋造りの茶室、旧仕事場である記念館、民家の土間を思わせる休憩所があり、記念館は

1934年に建築された西洋風建築物で、氏が生前に愛用したピアノや蓄音機などが今も残されている。例年晩秋には、紅葉の園内を期間限定でライトアップし、夜まで開園する。

住所 杉並区荻窪3-33-12

電話 03-3398-5814

開園 9:00-17:00(入園は16:30まで)

休業 水曜、年末年始(12/29-1/1)

3 杉並区立 角川庭園

四季折々の草花と俳句の楽しめる日本庭園



詩歌室1の窓から庭を望む



シンボリックな芭蕉の木



水琴窟

俳人で角川書店を創設した角川源義の旧邸宅と俳句の季語となる植物を楽しめる庭園。建物は、建築家・加倉井昭夫設計による木造2階建ての近代数寄屋造りで、国の登録有形文化財。「幻戯山房～すぎなみ詩歌館～」として一般開放され、句会・茶会などに貸し出されている(2階は非公開)。正門から入るとすぐ、庭のシンボルともいえる大きな芭蕉。建物1階部分は、部屋貸しの予約が入っていないければ、茶室も含め

て自由に見学できる。茶室前にある、水を流すと深淵な音色が味わえる水琴窟や、そのそばに置かれた源義が長野県の霧ヶ峰で詠んだ句碑なども見どころだ。

住所 杉並区荻窪3-14-22

電話 03-6795-6855

開園 9:00-17:00

休業 水曜、年末年始(12/29-1/1)

グリーンスローモビリティ 停留所

- ① 荻窪駅西口（発着）
- ② 大田黒公園
- ③ 荻外荘公園
- ④ 桃井第二小学校



A ウェルファーム杉並

B 郷土博物館分館
(天沼弁天池公園)



C 杉並公会堂



D 荻窪白山神社

光明院

E

←西荻窪駅

JR 中央線

荻窪タウンセブン / 荻窪ルミネ

荻窪駅



なみすけデザインマン
大田黒公園

天沼陸橋南

F

明治天皇
荻窪御小休所 ロッジ

G

H

中央
読書

I

3 大田黒公園

2 角川庭園

なみすけデザインマンホー
荻外荘公園



荻外荘公園

1

3

川南遺跡
(荻窪地域区民センター)

K

与謝野公園

J

⇐ 荻窪駅から約 1.4km

L 東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム **M** 荻窪八幡神社

荻窪の歴史と文化が薫るスポット

A ウェルファーム杉並複合施設棟

杉並区就労支援センター、杉並区立消費者センターなどが入る複合施設。4階にはこの地に住んだ作家・太宰治の紹介コーナーがある

B 杉並区立郷土博物館分館

入館無料で杉並の文化に触れられる施設。区立天沼弁天池公園の中にある

C 杉並公会堂

高機能と親しみやすさを兼備した、区の文化拠点

D 荻窪白山神社

歯医者さんも参拝に来る歯痛除けの神様。境内のあちこちに猫の石像がある

E 光明院

荻窪の地名の由来となった寺。除夜の鐘をつくことができる

F 明治天皇荻窪御小休所



明治天皇が休息をとった旧家が史跡となり、高層ビル敷地内に残る

G 西郊ロッキング



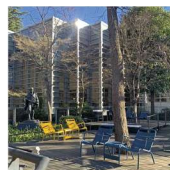
昭和初期の洋風下宿から、純和風旅館と賃貸アパートメントに。国の登録有形文化財

H オーロラの碑



水爆禁止運動発祥の地である公民館の記憶をとどめる記念碑

I 杉並区立中央図書館



建築家・黒川紀章による設計。木陰で読書ができる杉並区立読書の森公園が隣接している

J 杉並区立与謝野公園



歌人と謝野晶子・寛(鉄幹)夫妻が晩年を過ごした住居跡地。歌碑が14基設置されている

K 川南遺跡

(荻窪地域区民センター)

約12,000年前の旧石器時代の遺跡。動物の肉を焼いたと思われる数十個の石を集めた炉跡が出土している

L 東京工芸大学 杉並アニメーションミュージアム



アニメの歴史、企画展、ワークショップなどさまざまな形で日本のアニメを紹介。アニメ監督や漫画家等の「サイン柱」は必見

M 荻窪八幡神社

社宝の勝海舟直筆の大幟(おおのぼり)は3年に1度の例大祭の日に展示される。秋の例大祭は多くの人でにぎわう



※紹介スポットはすべて、すぎなみ学倶楽部で紹介しています。ぜひご覧ください。

杉並のことを

もっと知りたい！
調べたい！

と思ったら。

すぎなみ学倶楽部をお役立てください！

すぎなみ学倶楽部トップページ▶



歴史



ラストエンペラーの実弟に嫁いだ令嬢「嵯峨浩」、杉並にもあった「二・二六事件」など、地域にまつわる歴史的事象を掘り下げる。区に残る戦争関連の施設や場所、区内にお住まいの方々から伺った戦争体験も記録。

写真：今川氏ゆかりの観音寺

ゆかりの人々



第一線で活躍するタレントや作家、スポーツ、芸術、地域活動などの専門分野でめざましい活躍をする杉並の人々を紹介する。棟方志功などの偉人、井伏鱒二や太宰治など杉並の文士もこのコーナーに掲載。

写真：作家・角田光代さん

スポーツ



戦前から学生ラグビーが盛んだった杉並で、現在も力を入れる学校や社会人のラグビーチームを紹介。野球やボウリングといったスポーツにも、杉並区は大きく関わっている。スポーツの奥深さが実感できるコーナー。

写真：杉並区軟式野球連盟

産業・商業



区内に149社（2020年度調査）も存在するアニメーション関連企業、世界的シェアを誇る卓球用品メーカーのほか老舗企業・商店、都市型農業を紹介。まちを歩くだけでは分からない地元で活躍する企業、職業に出合える。

写真：杉並希望の家

食



区民が勤めるレストラン、ベーカリー、スイーツショップなど、約300店の情報をジャンル別で紹介。老舗の名物、隠れ家的カフェはもちろん、人気のラーメン店も約70軒取材。区が認定するヘルシーメニュー店にも注目。

写真：ヨシダベーカリー

文化・雑学



杉並らしいお土産、著名人や専門家が案内する散歩コース、個性が光るアートのスポットなどを多数掲載。杉並が舞台として描かれる本も140冊以上を紹介。寺社の秋の例大祭など、ローカルな情報は役立ち度ナンバーワン。

写真：torinoko store

自然



荻窪で発見された絶滅危惧種「杉並メダカ」や、杉並で観察できる野鳥紹介など、都会で自然に親しめるコンテンツ。セミの羽化の観察方法やヤゴの育て方など、区内外で役立つ、親子で学べる自然情報も盛りだくさん。

写真：シジュウカラ

特集



進学を検討する中高生の参考にもなる区内の学校紹介や、杉並の水害や震災対策、よりよいまちづくりに取り組む地域団体など、特集記事を掲載。荻窪三庭園を含む緑豊かな公園や、人気のお花見スポットも紹介。

写真：環七下の貯水施設

まち別検索



杉並区内の各駅ごとに歴史、人、食、スポーツなどジャンルを掛け合わせでクロス検索できる便利な機能と、まち別ダイジェストページが見られる。



なみすけ公式Instagram
suginami_namiske



中央線周辺の観光情報



すぎなみ学倶楽部ダイジェストブック「おぎくぼ名所地図」令和7年3月発行

発行：杉並区産業振興センター観光係
問い合わせ：〒167-0043 杉並区上荻1-2-1 Daiwa荻窪タワー2階
電話03-5347-9184

編集・デザイン：特定非営利活動法人
チューニング・フォー・ザ・フューチャー

登録印刷物番号
06-0117

杉並区公式情報サイト

すぎなみ学倶楽部

すぎなみ学倶楽部は、区民ライターが区の魅力を取
材、執筆、記事にしている杉並区公式情報サイトです。